

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第40号 平成30年2月23日発行



栃木県教育研究発表大会レポート **広げます**

平成29年度栃木県教育研究発表大会〔1月26日（金）・27日（土）〕が、延べ1,008名の御参加をいただき、盛会のうちに終了しました。御発表、御参加いただいた皆様、御協力いただいた関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。19の部会において、県内の学校等による先進的な実践発表や、発表に基づいた研究協議が行われました。

今年度は、小・中学校の学習指導要領が改訂されたこともあり、外国語関連の部会や道徳教育部会への参加者が多く、関心の高さがうかがえました。

また、例年以上に「連携」に関わる発表が多く、今後は、子どもたちを、それぞれの学校が単体ではなく、他校、他学校種、地域等と連携し、一体となって育てていく必要性を再認識することができた内容でした。

なお、「とちぎの教育未来塾」からは延べ140名の塾生が参加し、現場の先生方の実践に真剣な表情で聞き入っている姿が見られました。今年は特に寒さが厳しい日となりましたが、どの会場も熱気にあふれていました。

大会当日の様子を、後日、当センターWebサイトから公開しますので、是非、御覧ください。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/h29-kenkyu/>



【問合せ先】 研究調査部（TEL 028-665-7204）



小学校外国語活動部会の様子

第71回栃木県理科研究展覧会並びに発表会 **支えます**

本展覧会並びに発表会は、「児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図る」ことを趣旨とし、昭和22年から続いています。

今年度の中央展覧会は、2月2日（金）に審査を実施し、3日（土）、4日（日）に栃木県子ども総合科学館にて作品を展示しました。応募総数3,690点の中から92点が中央展覧会審査会に出品され、そのうち28点が最優秀賞に輝きました。応募された作品は、いずれも大変すばらしいものでした。

今回の中央展覧会に展示された研究の傾向として、生活や学習の中での自然な気付きからテーマを設定し、研究を地道に積み重ねてまとめた作品、継続研究をする中で、疑問に思ったことについて改めてデータを収集して検証した作品、仮説を立てて科学的に探究し、結果等を分かりやすく表現した作品などが多く見られました。

中央発表会は、2月16日（金）に栃木県総合教育センターで実施しました。応募総数88点の中から13点が中央発表会審査会で発表されました。実験の演示や動画等を効果的に活用した発表が多く見られました。

この中央展覧会と中央発表会で選ばれた最優秀賞の受賞者に対し、2月16日（金）に栃木県総合教育センターで表彰式を実施しました。

本展覧会並びに発表会の結果は、当センターWebサイトから閲覧することができます。

→Click! <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/h29-rikakenkyu/tenrankai.htm>



【問合せ先】 研修部（TEL 028-665-7202）

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。入力・送信は [こちら](#) から
・センターホームページ（TOP）は、[こちら](#) ・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)